

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

① 授業の質の向上

- ・ 3校での授業実施
- ・ I C Tの活用
- ・ 後期課程理科教員との指導案検討
- ・ 校内授業研究の実施



② 多面的な児童理解

- ・ 前期課程・後期課程合同での児童実態交流
- ・ 教科担任制授業（理科・体育・音楽・書写 等）



③ 小・中学校の円滑な接続

- ・ 校内授業研究の実施
- ・ 授業見合おう week の実施
- ・ 前期課程、後期課程合同での児童実態交流

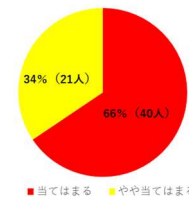
<成果>

① 授業の質の向上

- ・ 3校で授業を実施するため、授業の改善がすぐにできる。
- ・ 校内研究授業、協議により指導力の向上につながった。

→児童アンケート「教科担任制で学ぶことで、勉強の内容がよく分かるようになりました。」という質問に対する肯定的回答は100%であった。理由の中には、「詳しく教えてくれる」「専門の先生だから分かりやすい」という意見が複数みられた。

教科担任制で学ぶことで、勉強の内容がよく分かるようになりました。



② 多面的な児童理解

- ・ 児童アンケート「教科担任制で学ぶことで、いろいろな先生と話す機会が増えました。」「教科担任制で学ぶことで、分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。」という質問に対する肯定的回答がそれぞれ96%、80%であった。

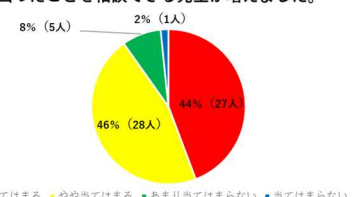
教科担任制で学ぶことで、いろいろな先生と話す機会が増えました。



③ 小・中学校の円滑な接続

- ・ 前期課程の職員が後期課程の授業を参観したり後期課程の職員が前期課程の授業を参観したりすることで9年間を見通した学習指導や児童生徒理解につながった。

教科担任制で学ぶことで、分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。



④ 教師の負担軽減

- ・ 担当授業時数・授業準備にかかる時間の減少や成績処理の分担により業務改善につながっている。

<課題>

① 授業の質の向上

- ア 時間割の調整が難しい。
 - 「雲と天気の変化」「植物の発芽と成長」「メダカのたんじょう」「植物のつくりとはたらき」など、天気や生物の成長度合いによって進度が左右される単元での授業に難しさを感じた。
- イ 単元末テスト結果において「思考・判断・表現」に課題が見られた。
 - 「知識・技能」の平均点 5 年生 90.1 6 年生 87.3
 - 「思考・判断・表現」の平均点 5 年生 83.6 6 年生 78.6

② 多面的な児童理解

- ア 本年度 3 校で理科指導をしており、移動時間の確保もあるため、指導者間での授業や児童実態に関わる連携時間が十分に確保できていない。
- イ 児童アンケート「教科担任制で学ぶことで、分からないことや困ったことを相談できる先生が増えました。」という項目に対して否定的な回答をした児童が 6 名みられた。
 - いろいろな先生と話す機会が増えたと回答した児童は多かったが、相談できないと感じている児童が複数みられたことより、指導者と児童の信頼関係の構築が不十分であったと考えられる。

③ 小・中学校の円滑な接続

- 児童アンケート「中学校から教科ごとに先生が代わることに對して、不安がなくなりました。」という項目に対して否定的な回答をした児童が 8 名みられた。
 - 指導者は授業参観、実態交流の場があるため見通しをもちやすいが、児童が中学校の授業に對して見通しをもてていないことが分かる。



<対策>

① 授業の質の向上

- ア ・ 2 単元を並行して行う。
 - ・ 動画等を活用した授業を行う。
- イ ・ 「問題を見い出す」「根拠ある予想や仮説を発想する」「解決の方法を発想する」「より妥当な考えをつくりだす」などの活動を十分に行える単元構成を組むことで思考力・判断力・表現力を育む。

② 多面的な児童理解

- ア ・ 専科教員と学級担任が連携を取りやすくなるように職員室での座席配置を工夫する。
 - ・ 学級担任との連携の時間を確保してもらう。
- イ ・ 特別活動等教科以外で子どもと触れ合う時間を確保する。
 - ・ 専科教員の所属学年を明確にし、学級担任とともに学級経営に参加できるようにする。

③ 小・中学校の円滑な接続

- ・ 教科担任制の枠を他教科にも広げる。
- ・ 後期課程教員による乗り入れ授業を、理科を含めたいろいろな教科で実施していく。
- ・ 前期課程教員が、後期課程の授業の T2 として指導する機会を設け、第 7 学年でつまずきやすいポイント等を把握することにより、第 7 学年に進学した際のつまずきが生じないよう、学びの系統性を意識した教材研究及び指導を行う。